

平成22年度 第38回 岐阜県高等学校選抜バスケットボール大会
 兼 第41回 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会県予選会
 大会最終日:平成22年11月3日(水)
 会場:岐阜アリーナ

男子の部

<審判>

決勝 美濃加茂 107 $\left[\begin{array}{r} 17 - 21 \\ 24 - 22 \\ 28 - 21 \\ 38 - 21 \end{array} \right]$ 85 富田 増田博徳・松野瑞穂
 棚橋英一

両チームともマンツーマンでスタートする。美濃加茂は立ち上がり試合のリズムがつかめず、3分以上ノーゴールの状態が続く。その後、赤土、小園井のジャンプシュートなどで得点するが、劣勢を強いられる。対する富田は加納の活躍で先手を取り、山田がスピードのある攻撃で相手のディフェンスを崩していく。第1ピリオドは富田が21-17とリードする。

第2ピリオド、美濃加茂は赤土、范がインサイドを頑張る中、小園井、中村、斉藤がスピードを生かしてシュートを決めて追い上げる。富田は羽田、山田がアウトサイドシュートを決め一歩も譲らない。互いにゾーンディフェンスに切り替えて守りを固め互角の戦いが続く中、富田が43-41と2点リードして折り返す。

第3ピリオド、美濃加茂は中村の3点シュート、小園井の速攻などで逆転し、この試合初めてのリードを奪う。その後も范のリバウンドシュート、中村のジャンプシュートなどで次々に加点し、リードを広げていく。富田も小椋、羽田のそれぞれ2本の3点シュートで反撃し、必死の追い上げを見せる。第3ピリオドが終わり、美濃加茂が69-64とリードするが、勝負の行方は見えない。

第4ピリオドに入ると、美濃加茂は高さのあるディフェンスで厳しく守り、中村の3点シュート、赤土のゴール下シュート、小園井のドライブ、国本のリバウンドシュートなど多彩な攻撃を見せて、次々と得点を重ねていく。ディフェンスリバウンドを確実に取り、相手の反撃を抑えこむ。最後は美濃加茂が107-85と爆発的な攻撃力を見せて快勝し、2年連続3回目のウィンターカップ出場権を得た。富田は真里谷のインサイド、アウトサイドに渡る活躍、羽田、小椋の3点シュートなど、最後まで気持ちのこもったプレーを見せて追いつがったが、点差は縮まらなかった。両チームとも持ち味を出し切った決勝戦にふさわしい好ゲームであった。(伊藤 潤)

女子の部

<審判>

決勝 岐阜女子 81 $\left[\begin{array}{r} 16 - 5 \\ 22 - 12 \\ 23 - 8 \\ 20 - 16 \end{array} \right]$ 41 県岐阜商 大江裕之・名越龍男
 廣瀬卓哉

両チームともハーフコートマンツーマンでスタートする。岐阜女子は激しいディフェンスで相手のミスを誘って速攻に走り、鐘ヶ江、松原がレイアップシュートを決める。また、小林のドライブに野原、鐘ヶ江が合わせて得点をあげていく。県岐阜商は山田のドライブやインサイドのスクリーンを使って攻めるが、シュートが決まらない。第1ピリオドは岐阜女子が16-5とリードする。

第2ピリオド、岐阜女子はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、さらに厳しい守りから、小林のスティール、野原のインターセプトから得点につなげる。また、スクリーンプレーからインサイドに合わせ、神山、野原のゴール下シュートで着実に加点していく。県岐阜商は松尾がジャンプシュート、山田がシュートを決め、ファウルで得たフリースローで反撃するが、点差を縮めるには至らない。前半を終わり、岐阜女子が38-17と大きくリードを奪う。

第3ピリオド、岐阜女子は相手のディフェンスの頑張りにやや苦しみながらも、松原の2本の3点シュートが効果的に決まり、その後も 鐘ヶ江、佐々木の得点で一気に差を広げていく。県岐阜商は 山田のドライブに 清水、池田が合わせのプレーをするが、シュートが思うように決まらず、苦しい展開になる。

第4ピリオド、岐阜女子はベンチメンバーの交代を繰り返しながらも、加藤、安江、杉浦が次々にシュートを決めて試合を決定づける。ディフェンスの厳しさ、速攻の速さ、インサイドの力強さを見せた岐阜女子が81-41の大差で決勝を勝ち、19年連続20回目の全国選抜優勝大会への出場を決めた。県岐阜商は最後まで頑張りを見せ、粘り強いディフェンスから 吉野の3点シュート、土屋のドライブで得点をあげたが、点差を縮めるまでは至らなかった。(吉福 司)